



週間情報



No.2726

発行日 平成27年7月7日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ QUOカードの取扱について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会は、全国の消防関係者を対象にQUOカードを特別価格で取り扱っております。

地区指導会出場記念、全国消防救助技術大会出場記念等にQUOカードの制作を承ります。



【QUOカード（オリジナルカード）の作成イメージ】

是非、この機会にQUOカードをご検討ください。

なお、申込方法等につきましては、一般財団法人全国消防協会ホームページ (<http://www.ffaj-shobo.or.jp/index.html>) に掲載していますので、ご覧ください。

【一般財団法人全国消防協会ホームページ画面】



QUOカードの申し込みは、
こちらからお願いします。

行事

◆ 第3回泉州南危険物安全推進大会を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、管内の3火災予防協会（阪南岬火災予防協会、泉佐野市火災予防協会、泉南市火災予防協会）と一致協力し、構成3市3町（泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・岬町・田尻町）の危険物施設の保安の確保を図るため、第3回危険物安全推進大会を実施しました。

この大会は2部構成で、第1部では、優良危険物関係事業所に対して組管理者（千代松大耕泉佐野市長）、消防長、各火災予防協会会長から表彰を行い、第2部では、危険物災害を発生させないためのリスク管理等について、大阪大学安全衛生管理部兼大学院医学系研究科招聘教授の梅田幸治氏を講師に招き、「危険物災害のリスク管理と危機管理」をテーマに講演を行ったもので、52事業所87人が参加しました。

当消防本部及び各火災予防協会では、今後も総務省消防庁が示す危険物事故防止アクションプランに基づき、保安意識の高揚を図るため様々な取り組みを行う予定です。



【第3回泉州南危険物安全推進大会の様子】

訓練

◆ 岐阜県防災航空隊との合同水難救助訓練を実施

恵那市消防本部（岐阜）

恵那市消防本部では、平成27年5月18日（月）、19日（火）、合同水難救助訓練を実施しました。

これは管内のダム湖において、舟艇操舵訓練、ロープ展張訓練及び救命浮環弾の発射による溺者救出訓練を実施しました。

また、県防災航空隊と連携し、転覆したボートから投げ出された要救助者2名を救出し地上の消防隊に引き継ぐ訓練も実施しました。この訓練では、防災航空隊の機動性を最大限に発揮させ、迅速な救助活動の確立及び連携活動の向上を確認しました。



【岐阜県防災航空隊との合同水難救助訓練の様子】

◆ 平成27年度警防技術発表会を実施

高知市消防局（高知）

高知市消防局では、平成27年5月27日（水）から29日（金）までの3日間、若年層職員の活動能力の向上、小隊におけるチームワークの醸成及び災害対応能力の向上を図ることを目的に、33隊132名を対象に警防技術発表会を実施しました。

この発表会では、共通の火災想定により共通の活動を実施し、評価者がそれぞれの隊員を評価するもので、出動途上の指揮者からの活動指示、現場到着後の情報収集、消火活動及び要救助者の救出等、火災現場における基本的な活動を小隊完結で実施しました。

今後も発表会を継続して実施し、消防力の底上げを図ることにより、市民サービスの更なる向上につなげていきたいと考えています。



【警防技術発表会の様子】

◆ 列車事故に備えた消防・警察・JR連携訓練を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局中央消防署では、平成27年6月3日（水）、JR千葉駅構内において、JR東日本千葉支社が実施する「総合復旧訓練」に参加しました。

今回の訓練は、走行中の列車に乗用車が衝突し、列車の乗客及び乗用車の運転手が負傷したとの想定の下、負傷者の救出・救護、乗客の降車誘導等を、消防・警察・JR社員が連携して行いました。

複数の機関と多数の乗客がいるなかで実施された訓練により、困難とされる正確な情報伝達や活動指揮統制を含めた相互の連携強化及び技術の向上を図ることができました。



【消防・警察・JR連携訓練の様子】

◆ 危険物火災合同訓練を実施

彦根市消防本部（滋賀）

彦根市消防本部では、平成27年6月8日（月）、新神戸電機株式会社彦根事業所において、危険物火災合同訓練を実施しました。

工場敷地内の屋外タンク貯蔵所付近から出火し延焼危険があるとの想定で、消防車両4台が参加し、火災発生後の119番通報、初期消火、工場建物内からの避難誘導、自衛消防隊による放水訓練を行うとともに、消防本部と自衛消防隊との連携体制の強化及び情報共有を図りました。



【危険物火災合同訓練の様子】

◆ 危険物安全月間に伴う合同訓練を実施

堺市消防局（大阪）

堺市消防局東消防署では、平成27年6月12日（金）、危険物安全月間に伴い、株式会社シェル石油大阪発売所堺石原LPG事業所（堺市東区石原町）との合同訓練を実施しました。

地震発生によってガスタンク西側配管が破損しガスが噴出、負傷者2名が発生したとの想定で、自衛消防隊4名と公設消防隊14名が連携しながら訓練を進めていきました。

今回の訓練を踏まえ、災害発生時における自衛消防隊と公設消防隊との連携態勢をさらに構築することができました。



【合同訓練の様子】



【訓練終了後の講評】

研 修 等

◆ エピペン講習会を開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部（大阪）

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部では、平成27年6月8日（月）、大阪府立羽曳野支援学校、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターとの共催で、エピペン講習会を開催しました。

当日は大阪府下の教職員、教育関係者等約80名が参加し、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科主任部長の亀田誠医師による「学校におけるアナフィラキシーの対応」という演題での講演と、エピペントレーナーを使用した実技研修を実施しました。

参加された方からは、「このような機会をいただき、とても良い勉強になった。」との感想が寄せられました。

※エピペン：アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐため、患者自身が自己注射する補助治療薬



【講習会の様子】



【実技研修の様子】

◆ 応急手当ボランティア指導員の再講習会を実施

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部では、平成27年6月14日（日）、応急手当ボランティア指導員に対して資格更新のための再講習会を実施しました。

ボランティア指導員には一般市民50名が登録しており、多くの指導に携わっています。

今回は成人教育技法を取り入れたものとし、講義の後、職員による「悪い指導デモ」に対するグループディスカッション及びグループ発表を行い、最後に「良い指導デモ」により内容を確認しました。指導員25名が受講しましたが、活発な意見交換等を行い、指導技法の確認とともに親睦も深まりました。



【グループディスカッションの様子】



【グループ発表の様子】

その他

◆ 救命に対する市長感謝状の贈呈式を実施

大府市消防本部（愛知）

大府市消防本部では、平成27年6月4日（木）、当市内の駐車場で心肺停止状態となった男性を救命した4人に対して、市長より感謝状を贈呈しました。

5月8日に市内の駐車場で通勤途中の男性会社員が倒れ、心肺停止状態になりました。女性2名が発見し、119番通報と応急処置を実施しました。異変に気付いた男性が加わり胸骨圧迫を開始し、通学のために通りがかった高校生が近くの事業所へAEDを取りに走りました。これらの勇気ある行動を称え、その功績に対して感謝の意を表したものです。

男性は2週間ほど入院しましたが後遺症もなく社会復帰し、この日4人と初対面して感謝を述べ、「逆の立場になったとき、苦しむ人を救えるよう救命講習を受けたい。」と話しました。



【市長感謝状の贈呈式の様子】

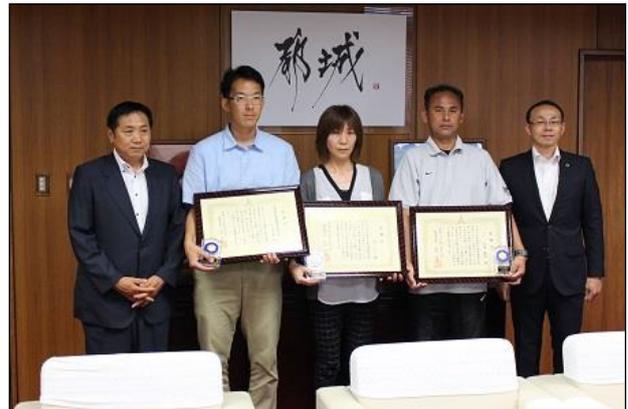
◆ 救命活動に対する感謝状を贈呈

都城市消防局（宮崎）

都城市消防局では、平成27年6月8日（月）、都城市役所市長室において、部活動中に卒倒し、心停止に陥った16歳の男子生徒を迅速・適切な救命活動により救った、1団体及び個人2名の方に感謝の意と勇気ある行動に敬意を表し市長から感謝状を贈呈しました。

受賞者は、過去に数回の応急手当講習を受講していたことが今回の行動につながったと述べていました。男子生徒は、退院後、学校生活に復帰しています。

当市消防局では、一般市民によるAEDの使用で社会復帰した事例は、今回が初めてです。今後も救命率の向上に向けて応急手当の普及啓発に取り組んでいきます。



【感謝状贈呈の様子】

◆ 消防本部の住所変更等について

- 94713 ^{かみましき} 上益城消防組合消防本部（熊本）
新住所 上益城郡御船町辺田見169（下線部が変更箇所）
※ 理由 消防庁舎移転のため
平成27年7月1日から運用開始

国等の動き

消防庁通知等

◆ 平成27年度予防技術検定受検予定者数の調査結果について（6月29日、事務連絡）

予防課より、各都道府県消防防災主管課あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

「消防力の整備指針第32条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」（平成17年消防庁告示第13号）等に基づき実施されている予防技術検定について、平成27年5月13日付け事務連絡により、平成27年度予防技術検定受検予定者数の調査を行った結果を別紙（省略）のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として送付します。

また、各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県管内の市町村（東京消防庁、各指定都市消防本部及び消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨情報提供していただくとともに、引き続き計画的に予防技術検定の合格者を確保し、予防技術資格者の配置に努めるよう周知くださいますようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2706/pdf/270629_jimurenaku.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課設備係
担当：近藤、千葉

◆ 建物建築費指数について（通知）（6月30日、消防情第172号）

防災情報室長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

標記の件につきまして、火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防災第100号）別表第4の「1表 建物建築費指数表」中、「その1 木造建物」及び「その2 鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造建物」に係る平成27年3月期の指数を以下（省略）のとおり定めましたので通知します。

なお、各都道府県消防防災主管部長におかれましては、都道府県内の指定都市以外の市町村を所管する消防本部（東京消防庁を除く。）に対してこの旨周知されるようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2706/pdf/270630_jou172.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 防災情報室
担当：塚狭係長、村田

報道発表

◆ 平成27年度「石油コンビナート等防災体制検討会」の開催（6月30日、消防庁）

石油コンビナート等における総合的な防災体制に関する検討を行う「石油コンビナート等防災体制検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/05/270529_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】特殊災害室
担当：宮崎、大川

◆ 平成26年1月～12月の製品火災に関する調査結果（6月30日、消防庁）

消防庁では、消費者の安心・安全を確保するため、火災を起こす危険な製品の流通防止を目的として、平成26年1月～12月に発生した自動車等、電気用品及び燃焼機器に係る火災のうち、「製品の不具合により発生したと判断された火災」、「原因の特定に至らなかった火災」等の製品情報を調査しました。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/06/270630_houdou_2.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】予防課
担当：小富士、齋藤、竹葉

◆ 平成27年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）（6月30日、消防庁）

平成27年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

個人4名、団体2団体

（受賞者名等は、別添（省略）の受賞者名簿に記載されています。）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/06/270630_houdou_3.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課
担当：篠宮政策評価広報官、野村係長

◆ 平成27年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰（7月3日、消防庁）

平成27年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人22名、団体13団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員7名、婦人（女性） 防火クラブ員2名

（受賞者名等は、別添（省略）の受賞者名簿に記載されています。）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270703_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課
担当：篠宮政策評価広報官、野村係長

情報提供

◆ 平成 27 年度子ども霞が関見学デーの開催（消防庁）

文部科学省主催の「子ども霞が関見学デー」が、本年も各府省庁で一斉に開催されます。消防庁においても総務省と共同してブースを開設し、皆様のご来場をお待ちしています。なお、消防庁ブースの実施内容は、次のとおりです。

1. 日時

[1日目] 平成27年7月29日(水) 10時～16時

[2日目] 平成27年7月30日(木) 10時～16時

2. 場所

中央合同庁舎第2号館地下2階ホワイエ及び第1会議室

3. イベント内容

☆チャレンジ・ザ・ファイヤーファイター

～君はどれだけ消防士に近づけるかな？～

チャレンジ① 火事だ！火を消せ！～消火器を使ってみよう～

チャレンジ② ケガした人を救え！～応急たんかを作ってみよう～

チャレンジ③ 命を救え！応急手当～AEDを使ってみよう～

☆消防写真館～ミニ消防服を着用して記念撮影～

○ 全文は、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/html/life/h27kodomo.html>) に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課広報係
担当：落合、中川

◆ 第7回 日本消防トライアスロン大会を開催

日本消防トライアスロンクラブ(JFTC)では、平成27年9月27日(日)に岐阜県の長良川において、第7回日本消防トライアスロン大会を開催します。全国のトライアスロンを楽しむ消防職員・団員(OB可)の皆さん、当大会でお会いしましょう。

なお、当大会の参加申込はインターネットサイトからできますので、「大会名」で検索してください。

日本消防トライアスロンクラブ(JFTC)



【問い合わせ先】日本消防トライアスロンクラブ
担当：酒井 秀夫(会長)
E-mail: jftc2009@ares.eonet.ne.jp

◆ 住警器の維持管理・定期交換促進用 専用 WEB の開設について
「10年たったら、とりカエル」

一般社団法人 日本火災報知機工業会

一般社団法人日本火災報知機工業会では、昨年10月に住警器の交換促進用チラシ、今年2月に広報用のDVDビデオを作成し、全国の各消防本部へ発送しました。

今般、チラシ・DVDと同様「伝えるべき人に、正しく伝える」をコンセプトに、「10年たったら、とりカエル」の専用WEBを6月1日に開設しました。住民の皆様により分かりやすく、親しみの持てる内容で住警器の交換促進の啓発を行うことを目的に作成しています。当工業会のホームページのトップページからアクセスできますので、お試しください。また、全国の各消防本部のホームページからリンクして、住警器の交換促進の普及啓発にご活用いただければ幸いです。

当工業会のホームページ (<http://www.kaho.or.jp/>)

<当工業会のリンクバナー>



<専用 WEB のトップページ>



担当窓口

一般社団法人日本火災報知機工業会

技術部 澤 宏

TEL 03 (3831) 4318

Fax 03 (3831) 4365

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp